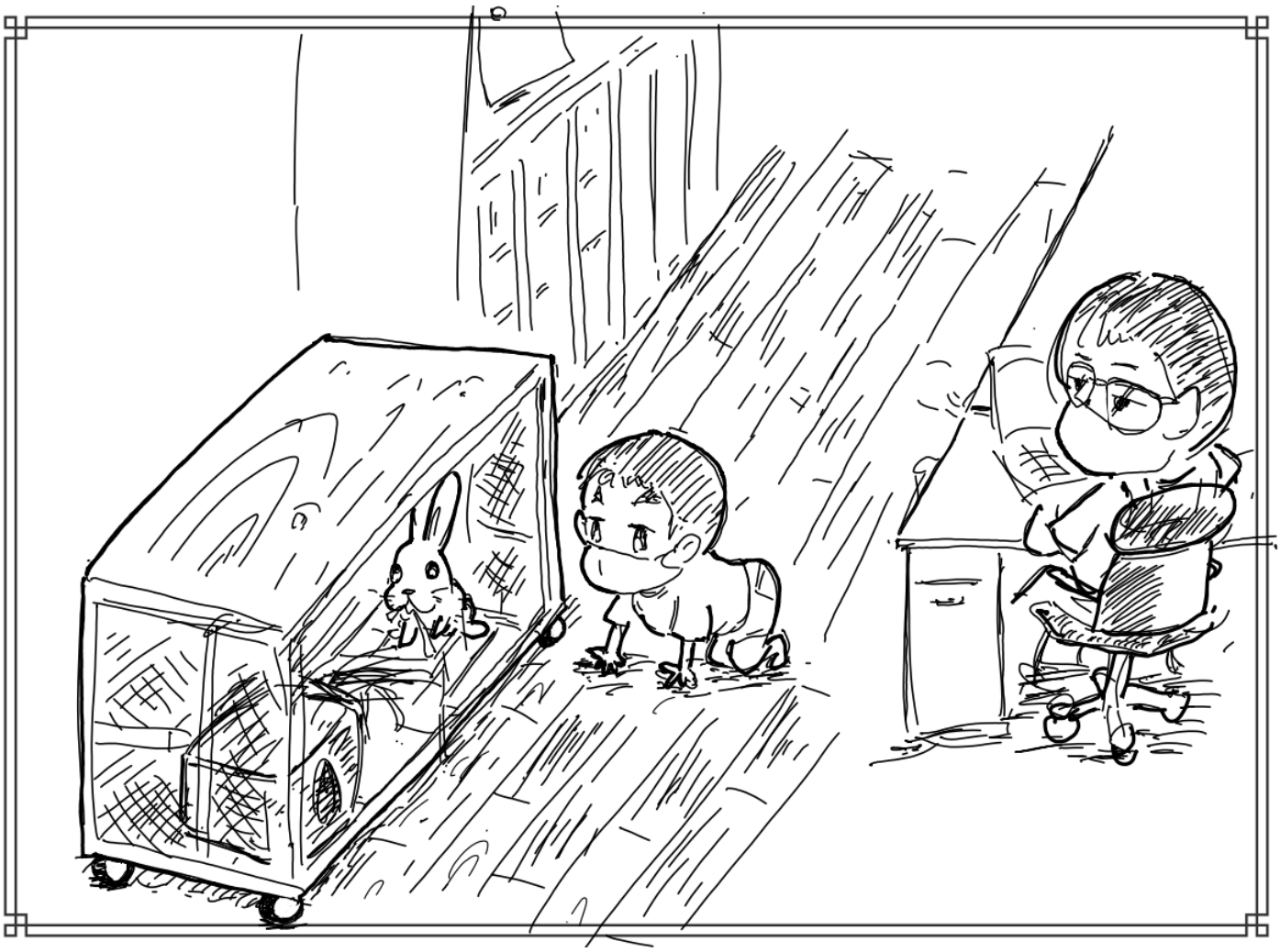
2022/8/5 発行　みつき出雲郷第２保育園
第２みつきっこクラブ

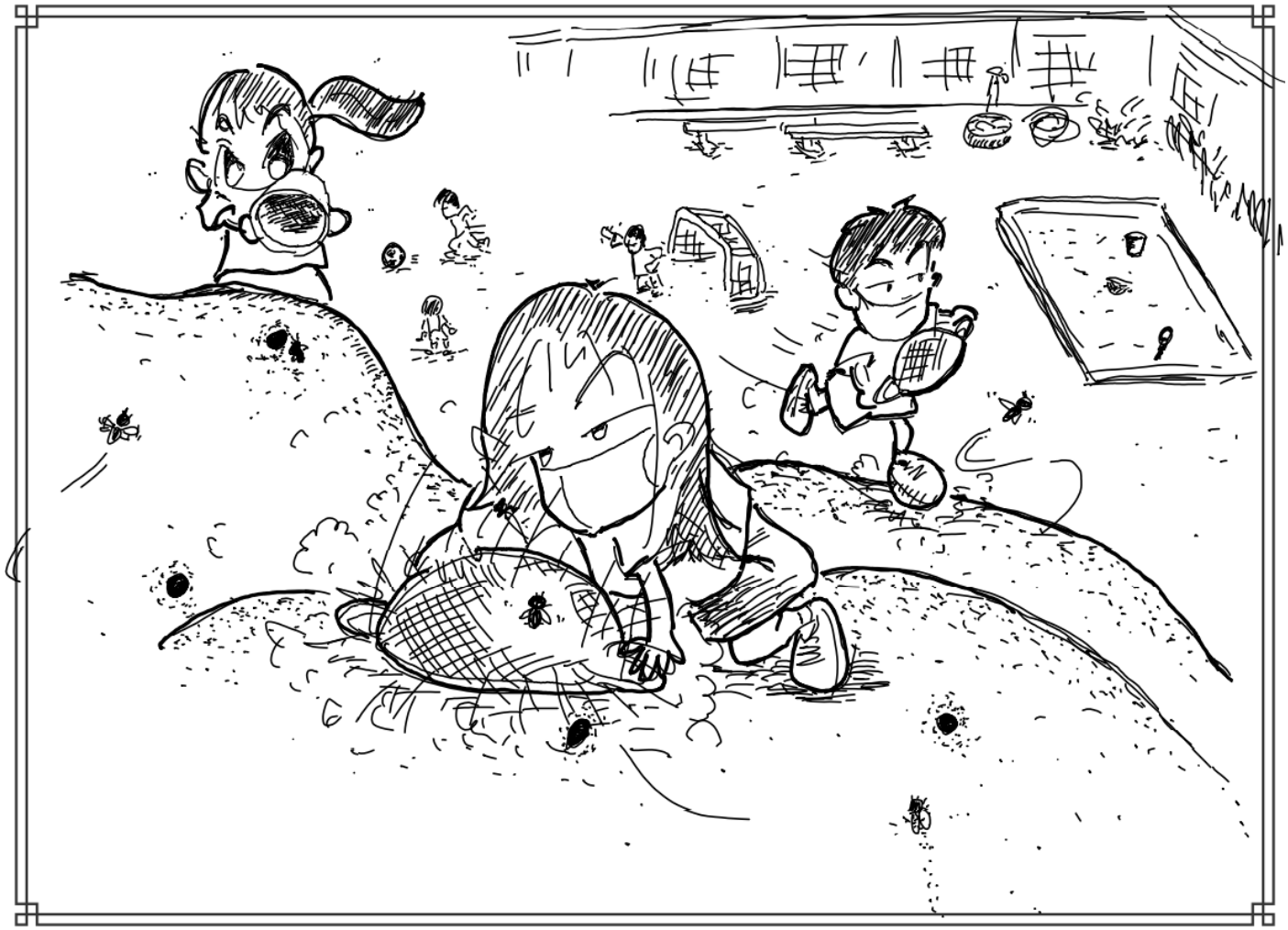
ルポルタージュ

～遅くなった７月号。いろ、ぬってみてね～



保育園に来たウサギのぴょんたくん。普段は先生の部屋の児童クラブ側にウサギ小屋が置いてあります。ぴょんたくんにメロメロの子どもは、園長先生に「見てもいいですか？」と聞いて、先生の部屋に入って見ています。その一言がなかなか言えない子も、もじもじしながら、園長先生に話しかけていました。

今ではもう、すっかりそのお願いも慣れてしまったようです。夏休みに入ってからは、ぴょんたブームも熱が収まり、順番待ちをする姿は見られなくなっちゃいました。

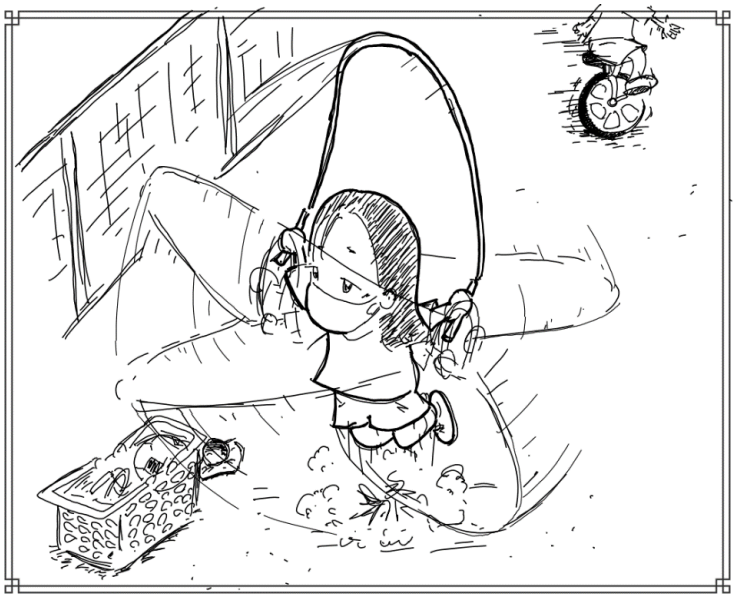


暑くなる前の時期、築山にはたくさんの穴があきます。その原因は「ツチバチ」。毒性は弱く、攻撃性もない虫です。それでも、駆除したい虫。私が泥を穴に詰めていました。それを見ていた２年男子が一緒に泥を詰めてくれました。そこから、徐々に穴を見つけては、泥を詰める子どもたちが増えていく。

ツチバチは、穴のあった付近に飛んできます。それをママゴトセットのざるで捕まえた男子が叫ぶ！「とったー。」。その声に集まる子どもたち。捕まえたツチバチをのぞき込んで大興奮。ざるとたらいを重ねて、「たかしませんせー、とったー。」と持ってきます。

この子どもたちの姿を見て、虫を捕る遊びを取り入れました。夏休み期間中、夕方に「狩りタイム」を作っています。男子を中心に、園庭のフェンスの外側のセイタカアワダチソウの森を踏み倒して、カマキリやバッタ、カナヘビ・トカゲを探して捕まえています。

虫網も３つ揃え、虫かごは１０個。捕まえた虫をもってかえりたいときは、虫かごを貸し出しています。カマキリハウスを作成して、カマキリを飼ってみていますよ。最近は乱獲気味で、いつもの場所にはいなくなっていますが…

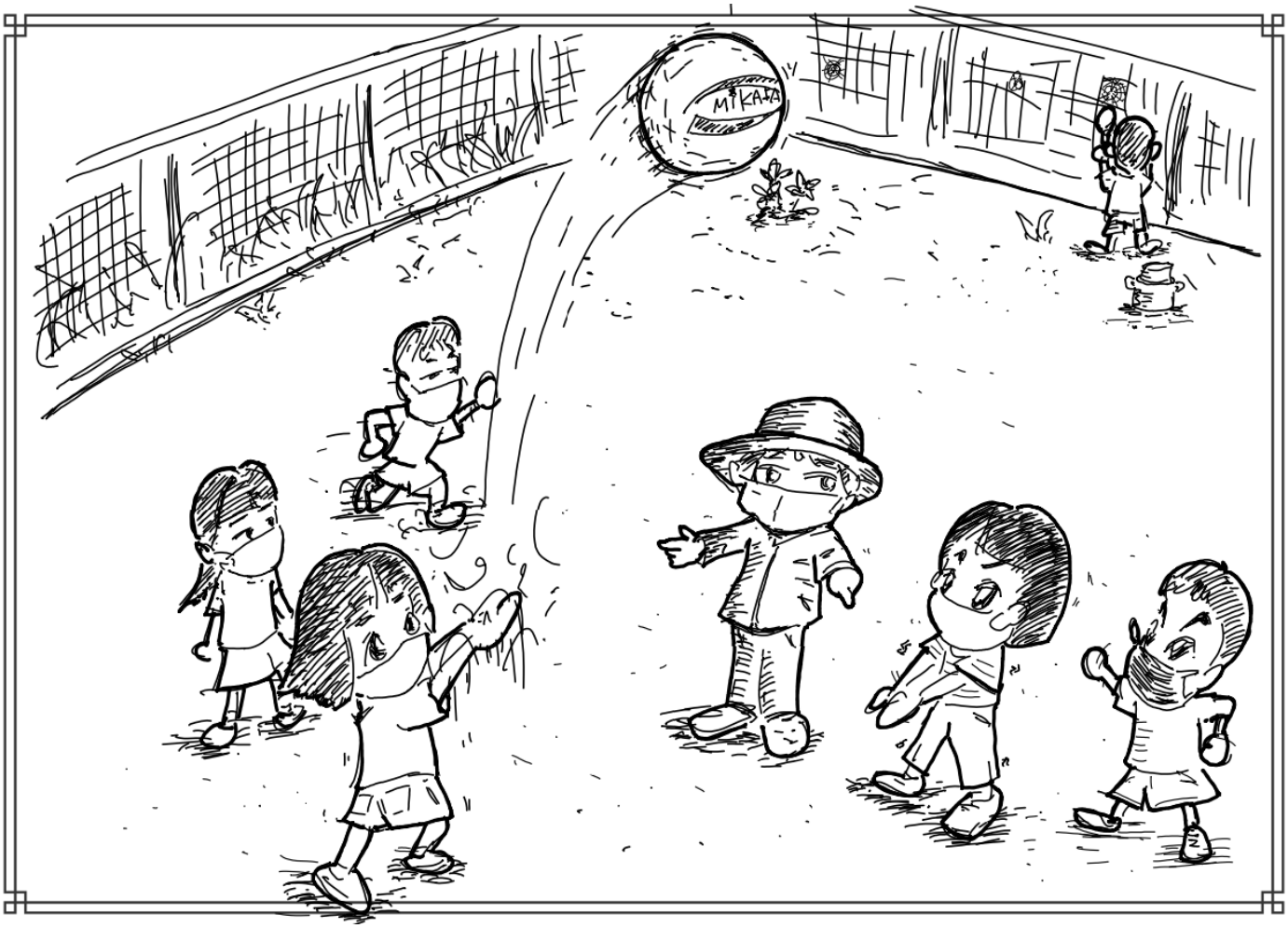


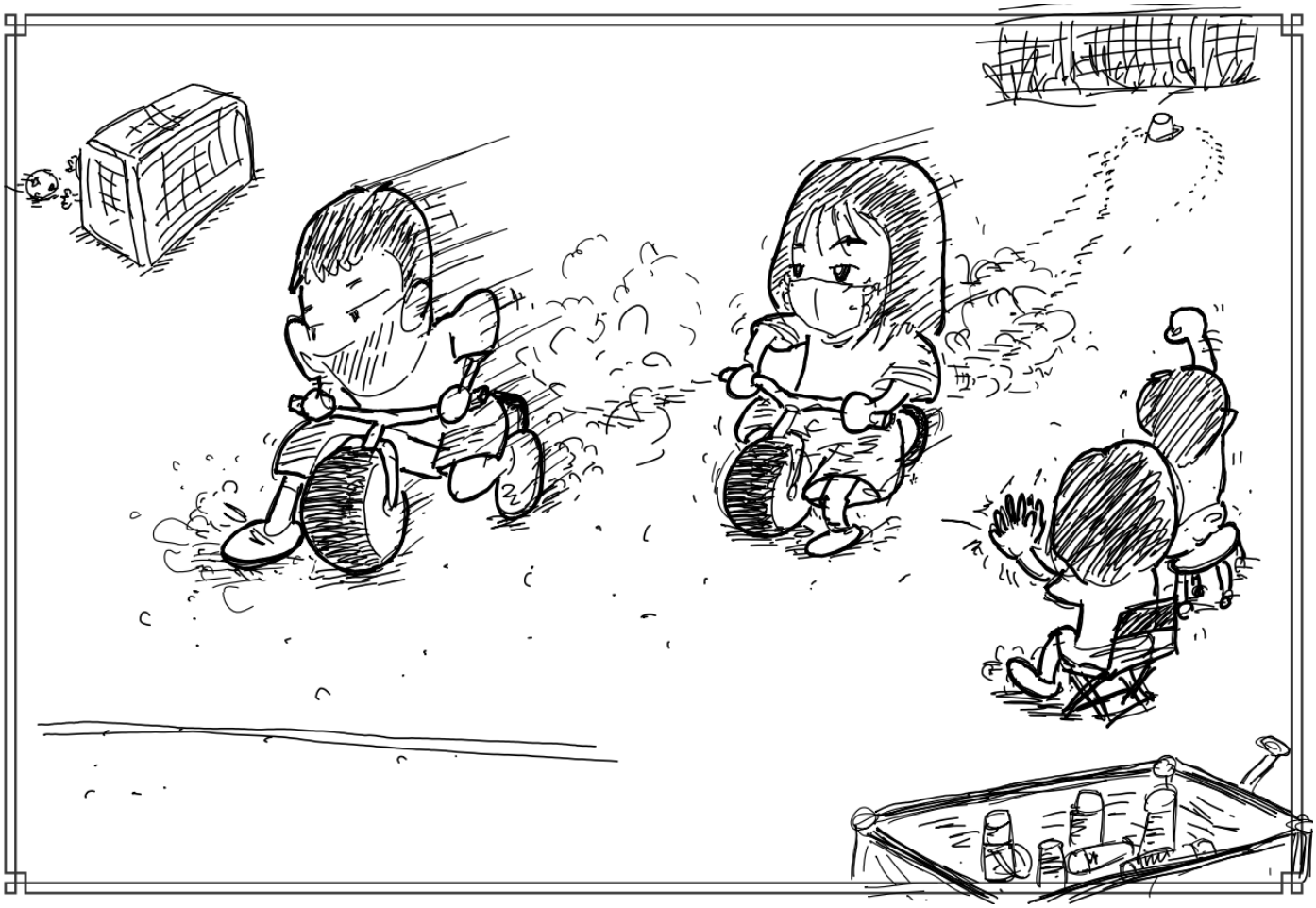
皆で遊ぶこともあれば、一人でも遊ぶことができる。それが、児童クラブの良さでもあります。

前とびじゃなく、後ろとびからできるようになった子もいれば、松永Ｔとバレーボールをしている子もいます。フェンス際では、ひたすら虫を探している子もいるし、サッカーをしているのに、バレーボールにも参戦する子もいます。

外で遊ぶ子もいれば、部屋で遊ぶ子もいます。学校のある日は、おやつを食べて宿題をすると、遊ぶ時間は１時間にもならないことも。その時間で、何ができるか…子どもだけじゃなく、私たちも考えています。毎日ちょっとずつの練習で、一輪車に乗れるようになる女子もいます。

何かをしたい子もいれば、何もしたくない子もいます。毎日、同じように過ごしているようで、毎日違う気持ちで過ごしている子どもたちです。





７月２９日(金)は夏祭りの予定でしたが、延期になりました。夏祭りのメインイベントのリアルマリオカートは、８月２６日(金)になりました。保育園にあるペダルのない小さな２輪車。これを使って、６つの分けたグループで対抗戦を行います。

実は遊びの中で、この２輪車に乗ってみてもらいました。小学生には小さすぎる２輪車。思いのほかスピードが出ない。進むだけで笑いが起こる不思議な乗り物です。赤いコーンを置いて、スタートラインを引き、「よーいドン」。すると、「いけー」「がんばれー」とヒートアップする子どもたち。なかなか進まないレースに、なぜか笑いも起きる。めちゃくちゃ盛り上がりました。

そこから思いついたマリオカートです。予選ラウンド、ポイント制で、決勝ラウンド。優勝グループを決める戦いを予定しています。

【編集後記】

夏休みに入り、一日の児童クラブの生活になりました。**朝の会→遊ぶ（室内）→プール→昼食→休憩→勉強の時間→遊ぶ（室内）→おやつ→掃除→遊ぶ（外＆中）→迎え。**夏祭りに向けて、練習や準備をしていましたが、いったん仕切り直しです。盆明けくらいに、また練習再開かな。

夏休みの宿題が終わっている場合は、なにか代わりに勉強するものをご用意ください。

高島智